

恵子 さとう

けいこ さとう

さくら通信
令和8年

第2回定例会号
逗子市議会議員
無所属

逗子生まれ・逗子育ち

令和8年第2回定例会(6月11日～25日 会期15日間)

今定例会では、逗子市の将来に関わる大きな議案が審議され、渚マリーナ用地の取得、葉山町との生ごみ共同資源化事業の開始、新宿4丁目崖地の安全対策など、市民生活に関わる重要な事業が前進いたしました。

私は今回の一般質問において、政治活動の原点である「市民の命を守る」をテーマに、防災、防犯、交通安全、空き家、環境問題の5項目について質問いたしました。

今定例会で決まった主な内容

渚マリーナ用地取得が可決されました

議案第33号「不動産(県有地・元海風荘)の取得について」が可決されました。

取得額は約6億3,700万円であり、市民の皆様から財政負担を心配する声があることも十分承知しております。この土地の利用については、マリーナ機能を維持することで一定の収入があり、それを持って維持管理が可能になることも考慮して、私自身も慎重に検討を重ねました。

そのうえで、国道134号線と相模湾に近接するこの土地は、逗子市内において代替できない大変希少な土地であり、一度民間に売却されれば、二度と市民の手に戻らない可能性があります。

この取得は、単なる土地購入ではなく、逗子の海辺に残された貴重な空間を、市民共有の財産として未来へ引き継ぐための決断です。

今後は、マリーナ機能の維持を図りながら、観光振興、海洋レクリエーション、地域活性化、水難事故対応や海上安全の拠点としての可能性も含め、市民の皆様に納得いただける活用が求められます。

私は、10年後、20年後、そして次世代の市民から「あの時、市が取得しておいて良かった」と思っていただけよう、今後もしっかり見守ってまいります。①渚マリーナ(写真)



葉山町との生ごみ共同資源化事業が11月からスタート

逗子市と葉山町による生ごみ共同資源化事業が、11月から始まることとなりました。

今議会で、葉山町と業者との解決されていない負担金は、逗子市はないことを確認し、可決しました。

ごみ処理は市民生活に直結する大切な課題です。環境負荷の軽減、資源循環型社会の実現に向け、広域連携による取り組みが一步前進いたします。

市民の皆様に分かりやすく、混乱のない形で事業が進められるよう、今後の周知や運用を注視してまいります。

② 6/19に現地視察を行い、施設の運営状況や安全対策を確認しました。(写真)

市民の方のご寄付により新宿4丁目崖地の安全対策が前進

逗子市は、土砂災害防止対策に活用してほしいとの遺言により、1億7,903万円の遺贈寄附を受けました。

寄附をされた方は、2020年2月に市内で発生した女子高校生の土砂災害事故を深く心に留め、「あのような悲しい事故は二度と起きてほしくない」との思いを遺されました。

その尊いご意思を受け、新宿4丁目崖地の安全対策に向けた地質調査・設計業務が進められることとなりました。令和11年度の工事完了を目指す予定です。私もこれまで議会で繰り返し安全対策を求めてまいりました。長年、不安を抱えてこられた近隣住民の皆様にとって、大きな前進です。今後も説明会や情報提供を含め、住民の皆様に寄り添った対応を求めてまいります。③ 新宿4丁目崖地の現況(写真)

一般質問 5項目の概要

- 1 防災対策について
新宿4丁目崖地の安全対策、急傾斜地や斜面地の危険箇所について質問しました。
特に、保育施設へ向かう山道沿いの斜面地では、大木の根がむき出しになり、倒木や斜面崩落の危険がある場所があります。園児や保護者、市民が日常的に利用する道であり、事故が起きてからでは取り返しがつきません。
危険箇所の早期発見と、予防的な安全対策を強く要望しました。
- 2 防犯対策について
桜山周辺での不審者情報をはじめ、子どもや高齢者を犯罪から守る対策について質問しました。
小中学校周辺の不審者情報の共有、公園トイレ周辺の防犯対策、通学時の見守り、高齢者を狙った特殊詐欺対策などについて、市の取り組みを確認しました。
事件が起きてからではなく、未然に防ぐ防犯対策の強化を求めました。
- 3 交通安全対策について
令和8年4月から自転車の青切符制度が導入され、令和8年9月から生活道路の法定速度が原則30キロに引き下げられます。
逗子市内には、道幅が狭く、歩行者・自転車・自動車が混在する生活道路が多くあります。
制度改正の市民周知、学校での交通安全教育、高齢者への啓発、警察や自治会との連携、グリーンベルトや路面表示などの安全対策を求めました。
- 4 空き家対策について
人口減少や高齢化により、全国的に空き家が増加しています。逗子市でも、庭木の大木化、建物の老朽化、倒木や倒壊の不安など、市民の皆様から切実な声が寄せられています。
空き家は単なる建物の問題ではなく、防災、防犯、衛生、景観、地域コミュニティにも関わる課題です。
危険性の高い管理不全空き家については、所有者への働きかけだけでなく、優先順位を明確にした積極的な対応を求めました。
- 5 環境問題について
逗子の魅力は、海と山に囲まれた豊かな自然環境と、良好な生活環境が調和していることです。
脱炭素社会、カーボンニュートラル、再生可能エネルギーの推進は重要ですが、逗子らしい景観や自然環境との調和も欠かせません。
自然環境の保全、景観への配慮、子どもたちへの環境教育の充実について質問し、逗子の大切な財産を次世代へ引き継ぐ取り組みを求めました。

これからも「市民の命を守る」市政へ
今回取り上げた防災、防犯、交通安全、空き家対策、環境問題は、それぞれ別の課題に見えますが、すべて「市民の命を守る」という一点につながっています。
災害、犯罪、交通事故、倒木や老朽化した空き家、生活環境の悪化など、市民の皆様が日々抱える不安を少しでも解消することが、行政の大切な役割です。
私はこれからも、現場の声を大切に、市民の皆様が安心して暮らせる逗子市の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。
今後とも、ご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ 大規模災害に備える耐震化などの費用を補助 7/17 建築士が現地訪問、簡易診断アドバイス
1981年5/31以前に建築確認を得て着工した2階建て以下の木造戸建て住宅（7/13までにまちづくり景観課へ連絡）

- 数字で見る逗子市**
- 一般会計予算 26,119,820千円（補正で 359,820千円を追加）
 - 介護保険事業特別会計 67,754,169千円（補正で1,769千円を追加）
 - 人口 54,014人（男25,426人 女29,181人 前月比－22人）
 - 世帯数 25,014世帯（前月比＋8世帯）
 - 高齢化率 31.6% 後期高齢化率 20.2%（令和7年）
 - 出生数 245人（令和6年住民基本台帳より 外国人除く）

さとう恵子は
市民の命と
暮らしを守りま
す。
皆様のお声を
聞かせて
ください！



- 【学歴】
双葉保育園卒
久木小学校卒
久木中学校卒
県立横須賀高校卒
共立女子短期大学卒
- 【職歴】
丸紅株式会社勤務
食品会社経営を経て
逗子市議会議員（3期）
総務常任委員会委員
議会報編集委員



連絡先
satokeiko.zushi@gmail.com
ホームページ
<https://sato-keiko-zushi.p-kit.com/>